



令和6年6月28日

発行：ニセコ町幼児センター

笑顔大切に！

今月は3歳児以上の子どもたちの遠足、年長・年中クラスの親子バス遠足と楽しい行事が続きました。下の写真はきつね組、ひつじ組、くま組さんのそれぞれの遠足の様子ですが、皆とてもいい表情をしていますね。

子どもたちは思ったこと、感じたことがそのまま表情にあらわれます。楽しく過ごせているかどうか、子どもたちの表情が全て、と言ってもいいと思います。子どもたちの笑顔は家族や周りにいる友だち、園の私たちも幸せな気持ちにさせてくれます。そしてその笑顔は友だちや先生方と楽しく遊んだり、お父さんお母さんからたくさん注がれた愛情や、周りの人たちとの幸せな関わりから生まれてくるものだと思います。

また、笑顔は体の細胞を活性化して免疫力を上げたり、ストレス解消、コミュニケーション力アップにもつながります。このように効果抜群の笑顔を大切に子どもたちの成長を後押ししていきたいですね！

園長 菊地 博



6/14(金)
春の遠足

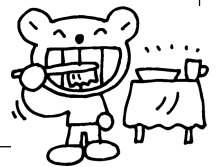


6/12(水) 虫歯予防教室



3～5歳児でクラスごとに虫歯予防教室を実施しました。歯科衛生士さんと保健師さんが虫歯になりやすい食べ物やどうしたら虫歯にならないかなどわかりやすく教えてくれました。最後にブラッシング指導を行い歯の磨き方を一緒に練習しました。

センターでは、歯磨きの習慣付けを目的に歯磨き指導を行っています。自分だけではまだきれいに磨くことは難しいので、家庭で保護者の方が必ず仕上げ磨きをしてあげてくださいね。



5/31(金) ニセコ高校生と菜園交流

ニセコ高校農業コースの2年生（6名）がくま組さんの野菜苗植えを手伝ってくれました。カボチャやトマト、キュウリ、ピーマンなど苗の植え方を教えてくれ、一緒に植えました。高校生のお兄さん、お姉さんはとても親切で、植えた後は鬼ごっこで遊んでくれました。最後に皆で記念撮影。順調に育ち、おいしい野菜がたくさん採れるといいですね！



6/7(金) 親子バス遠足

ひつじ組・くま組合同の親子バス遠足は、円山動物園に行ってきました。行きのバスの中でなぞなぞやクイズをやったりおやつを食べたりして動物園に到着。午前中はクラスごと、午後からは親子で、それぞれいろいろな動物を見て楽しみました。昨年生まれたゾウの赤ちゃんも大きくなっていましたね。



幼児センターにおける感染症の登園基準一覧表

集団感染防止のため、感染症にかかった場合は登園停止となります。登園に際しては医師の指示に従ってください。また、子どもの病後の状態や他園児への影響が心配されるような場合には家庭保育をお願いする場合があります。新型コロナウイルス感染症もインフルエンザ等と同様の感染症となります。

病 名	主 要 症 状	登園停止の期間
インフルエンザ	高熱、頭痛、全身のだるさ 筋肉や関節の痛み	発熱後5日間及び解熱後3日を経過するまで
新型コロナウイルス感染症	発熱、咳、のどの痛み、鼻水 嘔吐、腹痛、下痢、嗅覚や味 覚異常など	発症後5日を経過し、かつ、症状軽快※後1日を経過するまで ※症状軽快とは、解熱剤を使用せずに解熱し、かつ、呼吸器症状が改善傾向にあること
百日咳	特有な咳、ねばっこい痰	特有な咳が消失し、全身状態が良好であること（抗 菌薬を決められた期間服用する。5日間服用後は医 師の指示に従う
麻疹（はしか）	発熱、結膜の充血、目やに、 全身の発疹	解熱後、3日を経過するまで
風疹（三日はしか）	発熱、全身の発疹、	発疹が消失するまで
流行性耳下腺炎 （おたふくかぜ）	発熱、耳下腺の腫れ	耳下腺の腫れが発現から5日経過し、全身が良好に なるまで
水痘（みずぼうそう）	発熱、全身の発疹、水疱	全ての発疹がかさぶたになるまで
咽頭結膜炎 （プール熱）	目やに、涙目、結膜の充血と 浮腫、咽頭の発赤	主要症状が消えてから2日を経過するまで
流行性角結膜炎	目やに、涙目、結膜の充血	感染のおそれなくなるまで
大腸菌感染症 （O157 など）	腹痛、水下痢、嘔吐 発熱は軽度	症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、 48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれ も菌陰性が確認されたもの
溶連菌感染症	発熱、咽喉痛、発疹が出現す ることもある	抗菌薬を服用し24～48時間経過するまで
感染性胃腸炎（ノロ・ロタ）	嘔吐、下痢、発熱	嘔吐、下痢が治まり、普段の食事ができるまで
RS ウイルス	発熱、鼻汁、咳、呼吸困難	重篤な呼吸症状が消失し、全身症状がよくなるまで
手足口病	水疱性発疹（手、足、口等） 発熱は軽度	解熱後1日経過し、発熱がなく普段の食事が出来る こと
伝染性紅斑 （りんご病）	軽い風邪の症状で頬が紅く なったり手足に紅斑	全身症状が良くなっていること
伝染性膿痂疹 （とびひ）	細菌が皮膚に感染し水ぶく れやうみをもつ	皮膚が乾燥しているか、幹部をしっかりと覆う
マイコプラズマ肺炎	咳、発熱、頭痛などの発熱症 状。咳は徐々に激しくなる	発熱、激しい咳が治まるまで
帯状疱疹	体の片側に起きる強い痛み と、痛みの部分に帯状の赤 み、発疹、水ぶくれ	全ての発疹がかさぶたになるまで
単純ヘルペス感染症	口内炎、口周囲の水疱	発熱がなくよだれが止まり普通の食事が出来ること
突発性発疹	38度以上の高熱が3～4日 続いた後、解熱とともに発疹	解熱後1日以上経過し、全身が良好であること

※上記の一覧表は厚生労働省のガイドラインを基に作成していますが、医師の指示に従ってください。

《病気やケガ等についてのお願い》

○「溶連菌感染症」について

溶連菌は、抗菌薬を服用して24～48時間で感染力がなくなります。お医者さんによっては熱等の症状がなければ登園を許可してくれますが、蔓延防止のため、最初の服用後24時間たってからの登園にご協力をお願いします。また、「劇症型溶連菌（溶血性レンサ球菌）」と呼ばれる感染症が今年は過去最多を上回るペースで発生しているようです。溶連菌の症状が急激に悪化し、致死率が高いことが特徴です。東京都などで増加傾向にあるようですが、北海道においても注意が必要です。

発熱やのどの痛みがある場合は、早期に医療機関を受診するよう宜しくお願いします。



○「下痢」について

感染症に伴う下痢については、感染予防の為、普通便が出てからの登園をお願いしています。診断されていない下痢についても体調が良くなり下痢が止まって丸一日様子をみてからの登園をお願いします。0歳児の下痢については担任にご相談ください。

○「感染症や骨折・捻挫等のケガ」の場合の家庭保育の協力について

幼児センターは、「病児保育」（体調に不安がある子どもの預かり）への対応は、施設設備面や人材（看護師の配置）面が備わっていないため、行っておりません。左記のような感染症やクラスで一緒に行動することが難しい骨折・捻挫等のケガの場合は、症状が良くなるまで家庭保育をお願いしております。

家庭での保育が困難な時は、「ファミサポ」という仕組みがあり、病（後）児を含め様々なケースで子どもの預かりが可能です。ファミサポの詳細について知りたい場合は、幼児センター又は子ども未来課までお聞きください。

「ファミサポ」ホームページ→



お知らせ・お願い

☆夏の絵本の申し込みについて

「夏の絵本」の申し込み書を先日配付しました。希望がある方は袋に代金を入れて7月10日（水）までに申し込みしてください。

☆協力保育のお願いについて

8月13日（火）～15日（木）の3日間はお盆協力保育となります。保育時間は通常の7時30分～18時30分です。この期間、保育を希望される方は届出用紙を提出していただきます。詳しくは後日お知らせいたします。

☆プール遊び（ひつじ・くま）について

次の日に町のプールで遊ぶ予定です。

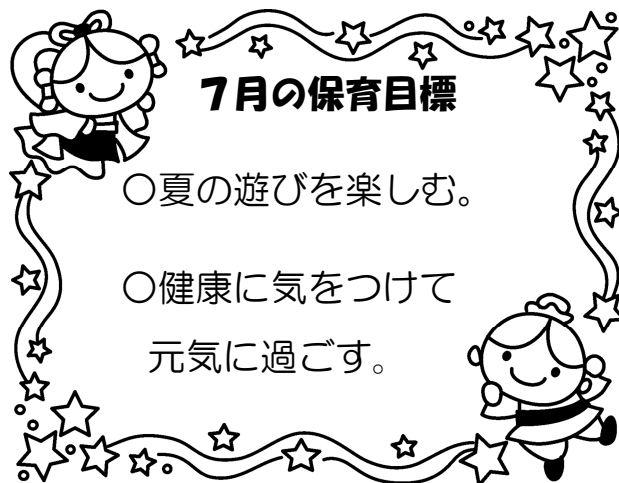
（ひつじ）7/3 7/17 8/1
（くま）7/4 7/19 8/2



おたすけまんの会 6月26日（水）

第2回「おたすけまん」では、大型プールの設置を行いました。仕事等でお忙しい中、お父さん4名、協力隊2名が手伝いに来てくれました。プール設置後は日除け用のテントも組み立てました。

これで暑い日も外で水遊びなどで思い切り楽しめます。ありがとうございました。



7月の保育目標

○夏の遊びを楽しむ。

○健康に気をつけて
元気に過ごす。